

平成25年度施策評価調書

整理番号	16
評価担当課	総務部防災・法制・訟務担当

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	地域防災計画の推進		
総合計画の位置づけ	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
	主要施策	4	防災対策の充実

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	名寄市地域防災計画に基づき、市民の防災意識の高揚、防災情報システムの整備、防災訓練の継続実施などの取組を推進し、全市的な防災態勢の充実を図ります。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	平成22年7月の豪雨災害や東日本大震災があり、それを教訓に地域においても自主防災組織の立上げや、きけんマップの作成等で自助、共助の活動が根付き始め、さらに災害時要援護者の支援事業も取組始めた。
施策の課題	自主防災組織の支援の充実、災害時の地域への速やかな情報の提供及び災害弱者の把握と避難方法の確立。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H22	H23	H24	目標年度(25年度)
土砂災害ハザードマップの作成	名寄市の土砂災害ハザードマップを作成及び周知に取り組んだ件数	目標値			1	
		実績値			1	
		進捗率			100%	
北海道総合行政情報ネットワークの更新	防災情報システムの整備の一環で道からの災害等の情報が速やかに把握できるよう取り組んだ件数	目標値			1	
		実績値			1	
		進捗率			100%	
災害時要援護者支援事業	災害弱者の避難等を支援事業を取り組んだ件数	目標値			1	1
		実績値			1	
		進捗率			100%	
防災訓練の実施	毎年防災訓練を行う件数	目標値	1	1	1	1
		実績値	1	1	1	
		進捗率	100%	100%	100%	
自主防災組織の組織化補助事業	事業の取組した件数	目標値			1	1
		実績値			1	
		進捗率			100%	

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
B	平成22年7月の豪雨災害においては、名寄市において初めての避難勧告を発令し、避難所で1夜を過ごした市民もあり、この災害の教訓から市の態勢や準備、備蓄等の拡充を図っているが、自主防災組織の充実や災害弱者の避難時の対処が課題となっている。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

市の福祉関係部局と町内会組織及び関係機関と連携し災害弱者の支援を行う取組を継続していく。

6 外部評価の意見等

一次評価のとおり

7 2次評価の意見等

水害抑制のための施設整備や防災訓練、また、災害時要援護者支援事業など先進的な取り組みも進められ、市民の防災意識も高まっている。しかし、防災・減災に係る課題は多く、今後とも一層の取り組みの強化を進める必要がある。

8 施策を構成する事務事業

(1)H24度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H24決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	土砂災害ハザードマップの作成	当市で初めて智恵文八幡地区の一部が土砂災害警戒区域に指定されたことにより、土砂災害ハザードマップを作成し安全な避難対策の実施により安全なまちづくりを推進する	483	a	a	a	a	c	A		
2	北海道総合行政情報ネットワークの更新	防災情報システムの整備の一環で国からの災害等の情報が速やかに伝達されるようにする。	2,418								
3	災害時要援護者支援事業	災害時に災害弱者の避難支援に係る個別計画を行うことで安全なまちづくりを推進する。	350	a	a	a	a	c	A		
4	防災訓練の実施	毎年防災訓練を行うことで関係機関の連携と市民の防災意識の高揚を図る	25	a	a	a	a	a	A		
5	自主防災組織の組織化補助事業	名寄市地域防災計画に基づく自主防災組織の組織化推進により市民の防災意識を高め減災を図る。	24	a	a	a	a	C	A		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

防災無線の免許等の更新事業、FM智恵文サテライト局の免許等更新事業、防災用回線維持事業、緊急割込装置維持管理業務委託事業、東日本大震災に係る災害対策事業、大雨災害に係る災害対策事業